

大日向中学校の開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

1	名称	大日向中学校 校長 久保 礼子
2	位置	南佐久郡佐久穂町大日向字上滝平 1110 番地 1
3	設置者	学校法人茂来学園 理事長 中正雄一
4	学則定員	90 人
5	開校年月日	令和 4 年 4 月 1 日

1 生徒数の状況（5月1日時点）

（単位：人）

	1年	2年	3年	合計	申請時計画	定員
R4						
R5						
R6						
うち新入生						
(応募者数)						
県外出身者						

- ・小学校からの内部進学と外部からの入学生の受け入れを行っている。
- ・開校初年度、2年度に続き、今年度も当初の想定より入学者が少なかったが、今年度は内部進学の希望者がさらに増加し、徐々に生徒数を伸ばしている。
- ・次年度については、内部進学の人数が増え、入学希望者も昨年度応募者より増えているため生徒数は増加する見込みではあるが、定員を満たせるよう募集活動を行っている。

2 教職員の状況（11月末日時点）

（単位：人）

		校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	事務職員	合計
計	計	1	1	5	4	1	2	14
	専任	1	1	5	0	1	0	8
	兼任	0	0	0	4	0	2	6
R6	計	1	1	7	4	1	1	15
	専任	1	1	7	0	1	0	10
	兼任				4		1	5
差	計	0	0	2	0	0	▲1	1
	専任	0	0	2	0	0	0	2
	兼任	0	0	0	0	0	▲1	▲1

- ・少人数による教科指導や個別支援のため、教諭を計画より2名多く配置できており、生徒数に対して教職員の数は十分であるが、柔軟な時間割の中で個別対応をすることが多く、スタッフの働きやすさには課題がある。
- ・技術・家庭科の教員が安定的におらず、引き続き次年度に向けて教職員募集を行っている。

3 教育の特徴等

- ・開校3年目となり、小学校同様、中学校でもイエナプランの理念を基盤に置いたカリキュラムが定着しつつある。(生徒が自分で立てた計画に沿って、各自が選択した方法で学習)
- ・一部教科を除いた異年齢集団での学習や自由進度学習に加え、教科の探究学習、教科を超えたワールドオリエンテーション(総合学習)など、複数の教育手法を組み合わせる授業を行っている。
- ・今後は、授業担当者の役割を明確にしつつ、中学校としてのイエナプランの学びを発展させていくことや個別支援の必要な生徒が多く、学校内でどのように高めあっていくかが課題である。
- ・今後の中等教育学校開設に向けて、前期課程にあたる中学校カリキュラムが安定するように教職員一丸となって取り組んでいく。

4 収支決算

		収入 A	支出 B	当年度収支差額 C=A-B
令和5年度	申請時の 計 画			
	決 算			